

○上西分科員 日本維新の会の上西小百合でございます。

本日は、不正そして犯罪防止のための取り組みについて質問させていただきますので、よろしくお願いいたします。

私は大阪の出身なのですが、東京に次ぐ大都市であるにもかかわらず、ビルの大きさ等では随分な差があることをしばしば痛感しておるところでございます。その中の一つが、東京では地下鉄やトンネルの中でも携帯電話が通じる、こういった通信インフラの差でございます。携帯電話やインターネット等の通信過疎地 解消に御尽力くださっている関係者各位の皆様方には、本当に頭の下がる思いがいたしております。

しかし、その一方で、コンサートホール等で公演中、携帯電話の電源の切り忘れやマナーモードへの切りかえを忘れた方の着信音で座が白けたり、あるいは、おととしの京都大学の入試や、公安委員会の免許試験場での中国人のグループによってなされた組織的な集団カンニング等の事例は、何とか防がなければならぬ 事案であると思っております。

そこで、私は、去年五月二十一日の総務委員会で、時間やエリアを限定して携帯電話の電波をシャットアウトする、こういった携帯電話抑止装置について、さ まざまに質問や提案をさせていただきました。その後、東京都公安委員会では、鮫洲、江東、府中、全ての免許試験場にて、昨秋、携帯電話抑止装置を購入、 セットされました。このことに関しましては、まことに同慶の至りでございます。

今、就労のために日本に来る外国人、とりわけA S E A N諸国や中国の方がお金の次に日本で欲しいのは、運転免許証だということです。パスポートや保険証 と異なり、顔写真や住所表示もあるので、在留カード以上に身分証明書にもなり、そして、それがあれば銀行口座も開設できるという理由だからだそうです。そ の口座を利用して本国に送金をしたり、それほど不正をする方々でしたら、それをもとにマネーロンダリングを行う等で、本当に喉から手が出るほど運転免許 証が欲しい。しかし、識字ができないので、なかなか運転免許証が取得しにくい。そのため、カンニングをしてまで運転免許証を取得したい、そういった方が後 を絶たないというふう聞いております。そうした中で、東京都公安委員会が、不正防止のため、全国に先駆けこの装置を導入されたことをまず心から歓迎したいと思っております。

しかし、その一方で、東京都公安委員会の試験場ではカンニングができないので、中国人を中心とした多くの外国人が、居住地を埼玉県、神奈川県、千葉県等 へ移し、そこで試験を受けている、そういった事例も多いというふう伺っております。警察庁では、こういったちまたで言われているような傾向、うわさ、そ ういった情報をつかんでいらっしゃいますでしょうか。それとも、これは単なるうわさ話なのでしょうか。

また、その傾向はまだ現段階では顕在化していない、そういった状況だとしても、考えてみれば十分に起こり得る現象でありますし、そして、東京都の試験場 だけでなく、全国一律、どこの免許試験場でも同様の対策が必要ではないか、このように思いますが、警察庁の御見解をお聞かせください。

また、東京都下の運転免許試験場に携帯電話抑止装置が設置されて以降の外国籍受験者の動向を、わかる範囲で構いませんので、教えていただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。